

献血者確保対策について（厚生労働省の取り組み）

1. 若年層に対する働きかけ

（１）中学生への普及啓発

血液の重要性や必要性について理解を深めてもらうため、全国の中学校にポスターを配布。

・平成26年度：11,373校に3,4万枚を配布

（２）高校生への普及啓発

献血及び血液事業に対する理解を促進させるため、全国の高校生及び教員へ副読本（けんけつHOP STEP JUMP）を配布。

・平成26年度：6,251校に生徒用115万部、教員用6,2万部を配布

（３）学校における献血に触れ合う機会の受入れの推進

学校献血や献血セミナーといった献血に触れ合うための機会を高等学校等に積極的に受入れてもらえるように文部科学省へ協力を要請（平成23年度より毎年度要請）

（４）主に10代、20代の若年層を対象とした普及啓発

「はたちの献血」キャンペーン（毎年1～2月）啓発宣伝用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布。 ・平成26年度：4,2万枚を配布

2. その他の普及啓発（国民的な普及啓発）

（１）「愛の血液助け合い運動」（毎年7月）の実施。

① 厚生労働省、都道府県、日本赤十字社の共催で実施。啓発宣伝用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布。

・平成26年度：3,9万枚を配布 ・平成27年度：3,9万枚を配布

② 「愛の血液助け合い運動」の一環として「献血運動推進全国大会」（毎年7月）を開催。

・平成27年度は、皇太子殿下に御臨席を賜る予定であったが、台風接近のため中止（7月17日）。

（２）テレビ、ラジオ、新聞等の政府広報を積極的に活用した普及啓発の実施。

・平成26年度：政府広報オンライン、ラジオ、インターネットテキスト広告、
政府インターネットテレビ、ウェブサイト、
厚生労働省広報誌「厚生労働」

・平成27年度（8月末現在）：政府広報オンライン、ラジオ、
インターネットテキスト広告、新聞、
厚生労働省広報誌「厚生労働」、Twitter